

羽賀場山山行報告

【山行日】2020年3月15(日) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 7:00

【費 用】マイカー1台 : 600円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、安西、島田、関、鶴見、福島、

【コースタイム】栃木市運動公園P7:00＝

長安寺 P7:50/8:05～第一鉄塔 8:35～

第二鉄塔 9:00/9:10～羽賀場山 9:50/10:00

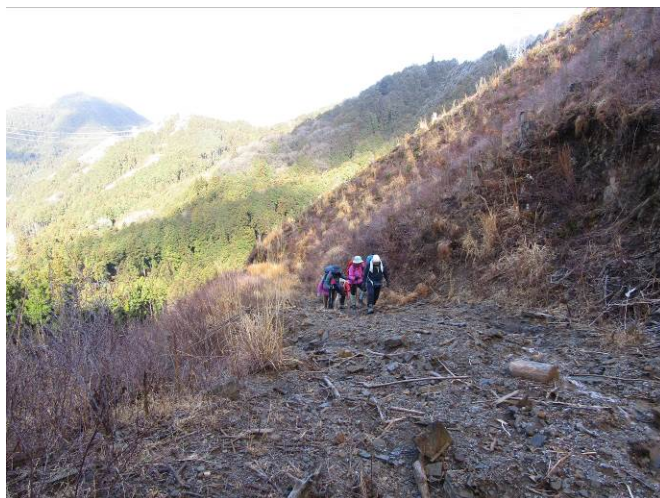
～引き返し地点 10:25～羽賀場山

10:50/11:00

～第二鉄塔 11:30/12:00～長安寺P

13:00/13:10～町の駅「かめま」13:40/13:55～正嗣 14:10/14:20＝栃木市運動公園 P15:00

GWの蝶ヶ岳山行に向けてトレーニング山行にうってつけの、羽賀場山～お天気山の縦走コースを計画した。栃木市運動公園を7時に出発し、鹿沼市運動公園でトイレを済ませ登山口の長安寺



に向かう。古峰ヶ原街道に入り大関の集落を過ぎると、前方の山々の山頂付近は白く雪化粧している。昨日の雨は、標高が高い場所ではみぞれや雪になったようだ。長安寺に着き、住職に駐車をお願いすると、奥の住宅下の駐車場に止めるよう言われる。

駐車場に車を止め、準備を整えたら上の駐車場に移動しストレッチを行う。寺の庭に羽賀場山の標識があり、庭を抜けると伐採用の道路を登るようになる。少し先で

二股に分かれるが、右は台風19号の被災で荒れており、遠回りになるが左の伐採用の道を登って行く。イバラやススキをかき分けて進み、大きく右に巻くように登って行くと登山道への入口標識がある。ここから尾根上の登山道を歩くようになり、植林地と伐採地の境を登って行く。伐採地の景色が良い場所で休憩し、衣服調整と水分補給を行う。

周りの山々がうっすらと雪化粧し、朝日に輝いてとても美しい。さらに樹林帯の登山道を



登ると第一鉄塔に出て、周りの木々が真白に霧氷が付き「ウワ～綺麗」と歓声が上がり「来て良か

ったね～」と嬉しそう。積雪がしたいに多くなり、登山道を外さぬよう歩くのが難しい。

上からは陽射しを受けた雪が枝から落ちて来て、頭やザックに容赦なく打ち付ける。尾根のアップダウンやトラバースを繰り返して、北に向かって進むと展望が開け第二鉄塔下に出る。鉄塔の下で



休憩し、展望を楽しみながらキーウイフルーツや菓子をいただく。ここから急な斜面を登り切ると主稜線に着き、西に進むと板荷からの分岐点を過ぎ積雪が多くなる。急登のアップダウンがいくつか続き、最後の急斜面を登ると一等三角点がある羽賀場山山頂に着く。杉林の中で展望は無いが、ここで休憩し記念写真を撮ってデコポンや菓子をいただく。エネルギーを補給したらお天気山に向かい、西に向かって尾根上を進む。雪がさらに多くなり登り

は問題ないが、下りは滑るので慎重に足場を確認しながら下る。岩場の急斜面はロープを頼りに登り、迷いやすい分岐は地図で確認しながら進む。皆さん雪景色に満足し怖さを感じず登っているが、進むにしたがって雪が多くなる。主稜線の尾根を外さないよう進むが、急降下の登山道は危険と判断し730mピークで戻ることにする。皆さんも思いがけない雪景色を堪能し、雪道を十分歩いたので満足との返事。戻るのはトレースが残っているので楽かと思っただが、皆さん下りに苦勞し往路より時間が掛かる。行きは雪景色を楽しみながら勢いで登って来たが、戻るとなると恐怖心が出てくるらしい。ようやく羽賀場山まで戻ると、男性登山者が1人休憩していた。



「この先雪が段々多くなり、下りが危険なので途中から戻ってきました」と言うと「以前、反対コース



から歩いているので大丈夫だと思います」と言ってお天気山に向かって行った。この時はこの方が滑落するとは想像もしなかったが、2日後の新聞に300m先の斜面で滑落し亡くなったと報じられた。我々と別れて10分後の事故だが、そのようなことは知る由も無く、往路を慎重に戻り第二鉄塔の下でランチタイムとする。ランチメニューはチタケうどん、以前磐梯山で採ったチタケを冷凍したもので作った。皆さんに美味しいと言って食べていただき、温かいうどんでも体も

温まる。お茶をいただいたら下山し、無事に長安寺に下山した。靴を履き替えて荷物を積んだら住職にお礼を言い、長安寺を後にする。帰りは鹿沼市の町の駅「かぬま」と餃子の正嗣で買い物し、予定よりも早く栃木市運動公園へ帰着した。お天気山までの縦走は叶わなかったが、思いがけな

い雪景色を堪能し雪山登山も経験でき、大満足のトレーニング山行になったようだ。